

倉敷・総社圏版

Kurashiki・Soja

海や空描き“巨匠”気分

障害者と英国人画家交流

倉敷



プライス氏(中央)とともに創作を体験する施設利用者の

障害者の自立や就労支援に取り組むNPO法人・サポートセンター「ジョイ」(倉敷市下津井吹上)は6日、運営する多機能型事業所「かがやきの杜」(同所)に英国人画家を招き、施設利用者との交流会を開いた。

訪れたのは、地中海を題材にした作品を多数手掛けているアンドリュー・プライス氏(58)。交流会には、自立訓練施設と就労継続支援B型事業所に通う11人が参加した。プライス氏は、水彩

絵の具を使って透き通る海や空、色とりどりの花を即興で描く。パフォーマンスを披露。利用者も手を添え、プロの色使いやタッチを体験した。

牧野翔太さん(21)は「筆の速さに驚いた。画家になった気分を味わえた」と話していた。プライス氏は、同法人の認可10周年を記念し、7～9日にイオンモール倉敷(同市水江)で開く「現代国際巨匠絵画展」(実行委主催)に出席するため倉敷を訪れている。

(岸本渉)